

下川手地区 地域おこし協力隊配置要望書

地域の目標	<p style="text-align: center;">暮らしの維持と地域資源の継承のために 『新たな視点』および『担い手』を確保する</p> <p>【下川手地区的現状】</p> <p>当地区は、美しいブナ林「美人林」、つなぐ棚田遺産「三桶の棚田」、そして里山の自然と学びを体験できる森の学校「キヨロ口」を有する、自然・農業・教育が調和した山間集落です。「美人林」は年間 10 万人の来訪者のある県内を代表する観光資源であり、また「三桶の棚田」で育てた酒米を使い、かつて地元で親しまれた地酒「松風」が復活するなど、農と観光、地域文化をつなぐ 6 次産業化の取り組みも着実に進んでいます。また、10 年以上にわたって継続している新潟大学との交流事業では、学生と住民が共に無農薬稻作や地域行事に取り組み、学びと賑わいが生まれています。近年は移住者世帯の増加により、関係人口も徐々に広がりを見せています。</p> <p>一方で、少子高齢化や農業の担い手不足、直売所や地域行事の継続困難といった課題は深刻化しております。持続可能な地域の未来をつくるためには、内と外をつなぎ、既存の資源を生かしながら、地域と共に行動する仲間の存在が欠かせません。</p>
隊員にして欲しい仕事を	<p>【全隊員共通の活動】</p> <p>◆地区との関係づくり</p> <ul style="list-style-type: none">・道普請のほか、各種集落行事に参加すること・地区の活動を支援するなかで、地区への理解を深めること・地区で何か困りごとがあれば、親身になって相談に乗り、可能であれば支援すること <p>【下川手地区的活動支援】</p> <p>◆目指す地域の将来像</p> <p>「里山の恵みを生かしながら、世代と地域を超えて支え合い、人が育ち、訪れる人ともつながる暮らしのある集落」を目指しています。そのために、美人林などの観光資源の活用や、農業・直売所・地域行事の継続支援を通じて、地域の誇りと生業を未来につなぐ仕組みづくりを進めています。住民一人ひとりが「心豊かな暮らしがある。この集落で育ったことが誇らしい」と感じられ、外から訪れる人とも温かなつながりを築きながら、持続可能な地域社会を共に育んでいきたいと考えています。</p> <p>◆地域おこし協力隊に期待すること</p> <p>地域おこし協力隊として着任いただく方には、地域の一員として住民の声を大切にしながら、以下の 6 つの分野を軸に、私たちと共に取り組んでいただきたいと考えています。</p>

目標（地区の将来像）		今、協力隊がやるべきこと	活動比率
1	美人林や棚田を活かした地域資源の価値向上	<ul style="list-style-type: none"> ■年間10万人以上が訪れる「美人林」における来訪者向け特産品の開発 ■ブナ間伐材を活用したコンテンツの企画・製造(レーザー加工機の活用等)および販路開拓 ■棚田で生産された酒米を使用した「松風」の販路開拓やPR活動 ■ホームページ「美人林の里 松之山川手」や・SNSの運用支援 ■森の学校「キヨロロ」との連携 ■美人林の環境保全活動 	20%
2	美人林直売所の継続と販路の再構築	<ul style="list-style-type: none"> ■高齢化により継続困難な直売所運営の支援 ■地元農産物や木工品などの魅力を活かした販売計画の立案 ■会員制通信販売の企画と立上げ ■地域外との販路開拓やPR活動 	20%
3	高齢者の暮らしの支援・交流づくり	<ul style="list-style-type: none"> ■「ほのぼのの教室」「デイサービス」に加えた高齢者サロンの企画・運営 ■孤立防止と地域の居場所づくりに向けた仕組みづくり 	20%
4	農業・棚田保全活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> ■地域協定に基づく耕作放棄地の抑制・棚田景観の保全 ■地域農家の手伝いを通じた技術習得と担い手としての成長支援 	20%
5	地域行事や交流活動の企画・支援	<ul style="list-style-type: none"> ■新潟大学Wホーム事業との連携（無農薬米作り等の交流継続支援） ■道普請や収穫祭など伝統行事への参加と次世代への継承支援 ■上川手集落との連携や交流の活動支援 	10%
6	豪雪地・山間地域での暮らしの体得	<ul style="list-style-type: none"> ■地域の知恵（除雪・保存食・暮らしの技術）の学びや発信（冬期間は住み良い集落事業により、玄関までの除雪体制は確立している） ■季節ごとの自然や文化に寄り添った生活の魅力発信 	10%

◆美人林木工品について

- ・年間10万人を超える美人林の来客に対し、販売し地域に還元できる特産品等がなかった。
- ・ブナ間伐材を原料にレーザー加工機を利用した美人林の特産品の開発と生産から販売を担当してほしい。

	<p>◆美人林野菜直売所について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美人林が旧松之山町の観光名所となってきた平成初期に、地域の山菜や野菜、手芸品等を販売し、地域に還元できるよう 2ヶ所の直売所を開始。 ・10件の農家が参加し、野菜栽培や山菜採取し出荷し、生き甲斐作りと実益を兼ねてきながら、構成員の高齢化による存続の危機に瀕している。取扱い量の拡大と新たな販路の企画を期待する。 <p>◆高齢者サロンについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市とボランティアで実施している「ほのぼの教室」や「デイサービス」の他に、集落内で実施できる交流の場を継続してコーディネートしてほしい。 <p>◆農業の担い手不足について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の耕作放棄地防止、棚田の保全に地域の集落協定として取組む必要があり、その一員として協力願えれば幸いです。 <p>◆交流事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟大学ダブルホーム事業で「ほりごたつ」と無農薬栽培の稻作りで集落と交流している。これに加え、道普請や収穫祭等の集落行事にも参加し、10年目を迎えた。
理想の隊員像	<p>□向いている人柄、必要なスキル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に根差し、自ら課題を見つけ、調整し行動できる方 ・人と関わることが好きで、地域の声を丁寧に受け止められる方 ・ものづくり・農・教育・観光のいずれかに関心がある方 ・里山での暮らしに価値を見出し、実践できる方 <p>□メッセージなど</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間通して行事が多い集落と自負しています、若い人が住んでもらうことで集落活性化のお手伝いを期待しています。 <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>美人林の里で、一緒に輝きましょう！</p> </div>

隊員年間活動計画

期間		具体的な活動概要
第1期	4月	中旬：集落総会 ：水稻の種まき 下旬：クリーン作戦 ：無人市開店
	5月	上旬：集落内見分と道普請 ：田植え
	6月	中旬：「ほりごたつ」水田除草 下旬：ほたる鑑賞会
第2期	7月	中旬：田休み祭り ：「ほりごたつ」水田除草
	8月	上旬：盆の道なぎ 中旬：盆踊り大会
	9月	上旬：秋祭り ：早生種稻刈り 中旬：コシヒカリ稻刈り
第3期	10月	中旬：「ほりごたつ」稻あげ、脱穀 下旬：東京松風会総会
	11月	上旬：収穫祭・防災訓練　　美人林祭り 中旬：道普請 ：無人市閉店 下旬：そば祭り
	12月	中旬：新大ダブルホームシンポジュウム
第4期	1月	元旦：新年会（餅つき） 中旬：歳の神
	2月	
	3月	上旬：雪上運動会